

今週は名詞の格変化について扱う。今回は具格を扱う。

具格とは、日本語でいうところの「～で」に相当する格変化である。英語では目的格に吸収されてしまったので現存しない格変化である。なお具格の複数形は登場頻度が少ないので本シリーズでは省略する。

(例)

- Я їм хліб з медом. (私はハチミツを付けてパンを食べる。)
- Вона не п'є чай без молока. (彼女はミルクなしで紅茶を飲まない。)
- Мій тато робить це з мамою. (私のパパはママとそれをする。)

ここに性別ごとの格変化の語尾をリストアップする。頻出の属格と対格も併記する。まずは男性名詞単数形。なお単語 мед は Type 1 である。

男性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	∅	∅	∅ / -ь	-й
属格	-а / -у	-а / -у	-я / -ю	-я / -ю
対格	∅ / -а	∅ / -а	-ь / -я	-й / -я
具格	-ом	-єм	-єм	-єм

次は中性名詞単数形。なお単語 молоко は Type 1 である。

中性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	-о	-е	-е	-я
属格	-а	-а	-я	-я
対格	-о	-е	-е	-я
具格	-ом	-ем	-ем	-ям

次は女性名詞単数形。なお単語 мама は Type 1 である。

女性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	-а	-а	-я	-я
属格	-и	-і	-і	-ї
対格	-у	-у	-ю	-ю
具格	-ою	-єю	-єю	-єю

特別な使い方として、言語の名前を表すときに1語で表すことがある。具体的には、“Українською”や、“Японською”など。(厳密には“Українською мовою”であるが、英語と同様に「言語」という意味の単語を省略できる)

最後は人称代名詞。人称代名詞の具格の出現率は低めだがここで紹介しておく。

人称代名詞の格変化

格	私	君	彼	彼女	それ
主格	я	ти	він	вона	воно
属格	мене	тебе	його нього	її неї	його нього
対格	мене	тебе	його нього	її неї	його нього
具格	мною	тобою	ним	нею	ним

格	私達	あなた	彼ら/彼女ら
主格	ми	ви	вони
属格	нас	вас	їх / них
対格	нас	вас	їх / них
具格	нами	вами	ними

□練習問題

ウクライナ語を和訳せよ。

- (1) Я п'ю чай з молоком.
- (2) Він не хоче їсти яблука без медом?
- (3) Віктор грає на піаніно з сестрою.
- (4) Сенсей хоче грати у бейсбол з Віктором.
- (5) З ким ти робиш це? (ким: хто の具格形)
- (6) Японською, будь ласка.

コラム 「呼格」

呼格とは、日本語で「～よ！」などと訳される、ある人やものに呼びかける際に使う格である。英語では主格と完全に同型である。なおこの変化は同じスラヴ語族のロシア語にもない。

複数形及び中性名詞の単数形は主格と同形であるが、それ以外で形が変わる。これについて詳細は省略する。

(例)

Привіт, Віктору! (こんにちは、ヴィクトル)

呼格についてこれ以上扱う予定はないのでコラムとして取り上げた。次回は処格(前置格)を取り上げる。